

藻類シンポジウム講演要旨集(1997～2010)バックナンバー一覧

- ・赤字で示した在庫号(2021年9月30日確認)の講演要旨集は会員、非会員を問わず無料で発送します。

クロネコヤマト着払いでの発送となり、1週間程度の猶予をいただきます。

- ・在庫切れも含め、日本海藻協会での複写サービスは一切受け付けておりません。
- ・2011年度以降の藻類シンポジウム講演要旨集は会報「海藻資源」に統一されています。24号、27号、30号、32号、25号、38号、40号、42号、44号、46号をご覧ください

2010年度 藻類ヘルスフードの科学と普及 (A4版 20頁) **—在庫あり**

微細藻類の食品利用：倉橋みどり

海藻由来の機能性物質：矢澤一良

2009年度 伝統的なアジアの藻類文化 (A4版 34頁) **—在庫あり**

メコン川流域の藻食文化—板海苔状カイペーン—：鯨坂哲朗

日本人の海藻利用—神代への旅—：濱田 仁

2008年度 国境を超えて移動する海藻 (A4版 22頁) **—在庫あり**

日本のワカメは外国の海に侵入したか—分子系統地理学的知見—：川井浩史

流れ藻—その生態とはたらき—：小松輝久

2007年度 海藻利用の拡大を目指して (A4版 25頁) **—在庫あり**

海藻はどのように利用されているか：山田信夫

海藻の化学成分は何に有効か —注目される海藻の化学成分—：天野秀臣

2006年度までは、日本応用藻類学研究会と共催でした。

2006年度 海藻と健康の展望 (A4版 37頁) **—在庫なし**

海藻資源からの糖鎖標的医薬素材・生化学素材：堀 寛治

現代の食事情における海藻の役割を中心にして：小川廣男

食感とレオロジー：田代有里

海藻由来の健康機能性成分—タンパク質，脂質由来の健康機能性成分を中心にして—
：佐藤 実

2005年度 海藻と健康 **—在庫あり**

—特定保健用食品・食物繊維・免疫機能とフコイダンの生理活性— (A4版 33頁)

特定保健用食品について 木村忠明

食物繊維の知識—海藻とコレステロール胆石—：辻 啓介

海藻と免疫機能—特にフコイダンの生理活性—：丸山弘子

2004 年度 海藻産業の海外事情-現状と展望- (A4 版 46 頁) —在庫あり

最近の観点産業について—新規寒天・用途・原料事情—：井上 修

カラギナン—餌料海藻と世界の市場の現状—：唐川 敦

アルギン酸の原料事情 ～チリ沿岸の資源調査と中国の実情～：笠原文善

海外のワカメ産業の現状と課題：佐藤純一

海苔業界の現況：日本・韓国・中国：石渡誠之

2003 年度 海藻加工技術の現状と展望 (A4 版 48 頁) —在庫なし

伝統食品の海苔の歴史と加：河村敏弘

コンブエキスの製造と利用：夜久俊治

ワカメの利用開発と需要の拡大：佐藤啓一

ひじきの加工技術の現状と展望：山城繁樹・戸高義敦・南元 洋

海藻の利用を拡大した海藻サラダ：鈴木 実

ヒット素材の青海苔とモズク：大野正夫・加用 守・川村伸正

2002 年度 新しい海藻由来の製品の科学的検討 (A4 版 57 頁) —在庫なし

機能性食品としてのフコイダン：その構造と生物活性：酒井 武

アガロオリゴ糖による炎症反応の制御：加藤郁之進

低分子アルギン酸ナトリウムの機能性と食品への利用：志多伯良博

海苔由来ペプチド類の血圧調節作用：川合正充

アルギンの工業用途への利用：宮島千尋

海藻配合化粧品 ～海藻の化粧品利用への可能性～：箕浦一彰

海藻肥料による土壌改善と農産物の増産・品質向上：大野正夫・貫見大輔

2001 年度 藻類由来の機能性成分の研究と利用の展望 (A4 版 34 頁) —在庫なし

海藻の化学成分と医薬品応用への可能性：楠見武徳

微細藻類の生理機能とその応用：竹中裕行

アスタキサンチンの機能特性とその応用：山下永次

2000 年度 21 世紀における海藻の研究と利用 (A4 版 44 頁)—在庫なし

1. 海苔研究の現状と課題： 能登谷正浩

2. 褐藻多糖類研究の課題： 西出英一

3. [海苔業界の課題](#)： 鬼頭 鈞
4. [ワカメ業界の課題](#)： 佐藤純一
5. [昆布業界の課題](#)： 喜多清光

1999 年度 藻類の安全性と健康への効用(A4 版 31 頁)―在庫なし

藻類の安全性について：塩見一雄

老化予防への海藻の効用：乾 渉

海藻食物繊維による癌リスク軽減：加藤郁之進

以下は日本藻類学会主催で、本協会が国際海藻協会日本支部として共催していました。

1998 年度 海産植物資源の活用-現状と展望- (B5 版 37 頁)―在庫あり

アルギン酸の利用と産業の国際的展望：；笠原文善

寒天の開発と市場動向：寒天の開発と市場動向：井上 修

カラギナンの市場と変遷：岩元勝昭

微細藻類からの有用資源開発：高松秀典

海外海藻資源の開拓と利用：角谷 清

1997 年度 海藻利用の 21 世紀のへの展望 (B5 版 15 頁)―在庫なし

藻食のすすめ：館脇正和

海藻の薬理効果：野田宏行

海藻の森とそのはたらき：横浜康繼